日本神経学会てんかん治療ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ 2010 追補版　てんかん重積状態の治療フローチャート

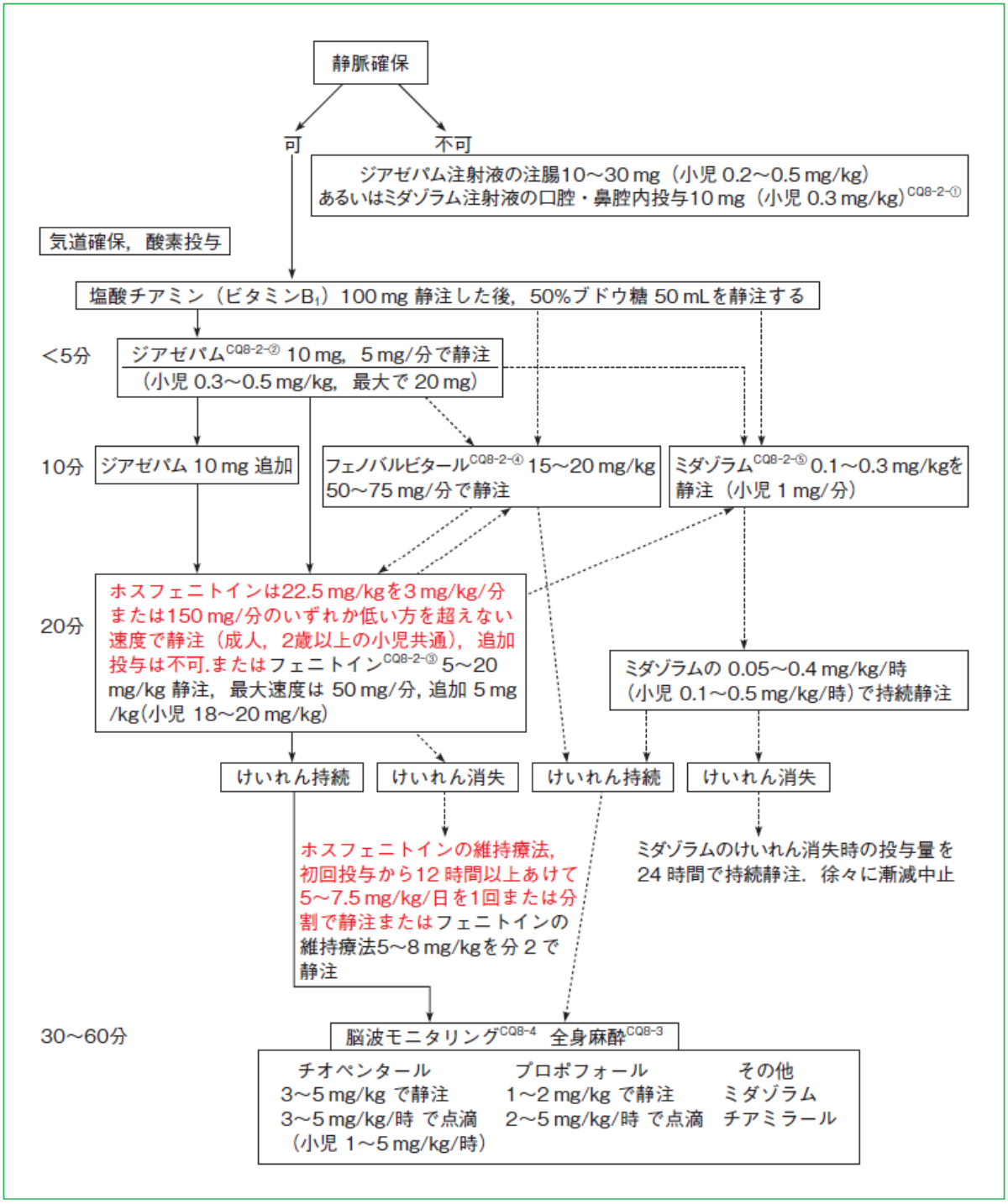

図 1　てんかん重積状態の治療フローチャート

＊1：括弧内は小児量．右肩の数字は本文中で説明している項目を表す．

＊2：ある薬剤を投与し，血中濃度を測定すれば，その薬剤が分布する容量がわかる．この容量を分布容量（Vd）という．3 者の関係は，血中濃度増加分（mg/L）＝投与量（mg）÷体重（kg）÷Vd（L/kg）である．フェニトインの Vd は 0.7 なので，希望する血中濃度と体重がわかれば，フェニトインの投与量は算出できる．

＊3：フェニトインを投与する場合は，血中濃度の推移は個体差が大きいことに注意する．特に高用量では血圧低下などの副作用に注意する．

＊4：栄養障害性急性脳症であり，ビタミン B_1の急速な消費により惹起される Wernicke 脳症では，ブドウ糖の投与がけいれんを増強することがあるために，病歴が不確かなときは，糖を投与する前にビタミン B_1 100 mg を静注する（エビデンスレベル Ⅳ）[1]．

＊5：実線は標準的な治療，破線は別の選択肢を示す．